

7/26 農業EXPO

セミナースケジュール

11:00~11:30

農業初心者講座

農業経営者になるにはどんなことが必要なのか、そのポイントと留意点をわかりやすくお伝えします。
また、参入後に課題となる点もわかりやすく解説。
農業法人に就職希望の方向けにもそのポイントと留意点をお伝えします。

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)
中央農業研究センター 生産体系研究領域 営農システム評価グループ長 島 義史 氏

【PROFILE】

1974年生まれ、1999年4月農林水産省四国農業試験場、2018年4月より現職。
新しく農業を始めた新規参入者を対象に、聞き取り調査やアンケート調査等をもとにして就農までの取り組みや就農後の経営の変遷、支援方策の効果を分析し、新規参入者がどういったステップで経営発展していくのか、スムーズな経営発展を応援するためにどのようなサポートが必要なのかを検討してきました。

12:00~12:30

川名さんをトリコにしたトマト栽培の面白さと難しさ ~研修から就農、そして都市型農業へのチャレンジ~

大学卒業後農業法人で栽培・流通を勉強し自分なりの農業を模索する中で、目の前にいるお客さんに、自分でつくった自信をもてるトマトを直接届けたいという想いがつり、地元東京での新規就農を決意。作物の栽培方法、知識の習得から販路の開拓まで自分のビジョンの実現に向けた新規就農1年目のストーリー。



ネイパズファーム 代表 川名 桂 氏

【PROFILE】

1991年生まれ、東京都出身。
2014年東京大学農学部卒業後、農業法人に就職、大規模トマト栽培施設の立ち上げに携わる。
2016年より、東京都の農家にて研修開始。2019年3月、生産緑地を借り受けて日野市にて新規就農、ネイパズファームを設立。
現在は直売をメインに露地多品目栽培を行いながら、環境制御型施設の導入とブランドトマトの生産を目指して準備中。

13:00~13:30

農家が実際に使っているスマート農業 ITを農業の現場に生かす ~実際の現場では、どの様にITを活用しているのか~

ITベンチャー企業でエンジニアとして築いた5年のキャリアを農業にキャリアチェンジ。
スマート農業が進む農業界、次々と開発されるアプリを見て何かが違うと感じた伊藤さん。
「やはり現場を知っている農家自分たちの使いやすいアプリを作ることが必要だ」と、農業を行いながら自らアプリ開発を始めた、ITエンジニア×農業と言う新たな領域で挑戦を続ける伊藤さんの生産者に最も近いスマート農業を紹介しします。



伊藤農園 asobibatake 園主/株式会社 Agrihub 代表取締役 伊藤 彰一 氏

【PROFILE】

大学で電子工学を学んだ後、ITベンチャー企業でエンジニアとして5年ほど働いていたが、2016年に、家業の農業を継ぐ形で就農。
現在は、東京都内の約1ヘクタールの農園で、野菜を主に栽培し、地元の学校に給食用の食材を提供するほか、「野菜を売る」以上の価値を生み出すために体験農園や収穫体験イベントなどを運営。また、農作業のかたわら、空いた時間を使い、自らAgrihub(アグリハブ)という農作業管理アプリの開発を行い、現在では5,000人の農家が使うアプリにまで成長。

14:00~14:30

高校2年で就農、初期投資30万円で経営を安定させた新規就農ストーリー ~~プロが教える旬の野菜の作り方~~

農業を始めたいけど初期投資資金が充分用意できない方へ。17歳の時に初期投資30万円で新規就農し、17万円で軽トラックを購入し、壊れている耕運機を自身で修理し活用。
農業機械の買い方や少ない初期投資から経営を安定させた目黒さんの新規就農ストーリー。
そんな目黒さんが皆さんにプロが教える旬の野菜の作り方も伝授します。



アグリスマイル合同会社 代表 目黒 秀斗 氏

【PROFILE】

旅行好きで日本全国を飛び回っているときに、荒れ果てたたくさんの耕作放棄地を目にしそのような土地で何かできないかと思い、高校2年の時に起業しました。安心安全な農作物を安定的に多くの人に食べてもらえるよう努力の日々。
経営は、初期投資30万借金0円で経営、現在4期目で群馬県に2ヘクタール、トラクター2台を購入し堅実経営。
現在は、神奈川、群馬、千葉に畑をもち、安定化を目指すために日々研究中。